



[山野を歩き、草花を愛でませんか？20170811](#)

[山野を歩き、草花を愛でませんか？](#)

平成26年に発足30周年を迎え発行された、記念誌『やまあるき』を読ませて頂きました。まず、寄稿した会員の文章から山歩きの魅力の数々に感動しました。

また、87才の会員も現役として参加していると聞き、これぞ、健康長寿の秘訣ではと思い、会長はじめ役員の方にお話を伺いました。

まず、名前の五十雀(五十から)山歩会の50は年齢ですか？と聞きました。昔は、50才で定年でしたから、定年後の人が入会すると言う意味でしたが、近年は定年も伸びているので年齢の枠は外しました。と答えが返って来ました。

年を取って、山歩きは難しいだろうなと漠然と考えていましたが、年齢、体力に合わせた山歩きがあるのですよと聞いて、本当ですか？と思わず聞いてしまいました。

自然の野山を歩き、草花を愛で、野鳥のさえずりを聞き、自然を満喫したいな～と思う一方で山は自然が相手なので、経験の無い人には危険が伴い、山歩きは難しいと思う方がいると思います。

そんな方に、三島市五十雀山歩会の入会をお勧めします。初心者からベテランまでが楽しめます。

写真を交え、三島市五十雀山歩会を紹介していきます。写真左は7月の尾瀬ヶ原『ニッコウキスゲ』の大群生。写真右は4月の藤枝市蓮華寺池公園の『藤』。



[山野を歩き、草花を愛でませんか？](#)

[052](#)

まずは五十雀山歩会の約束事である五十雀憲章を紹介します。

1. 人生は五十雀(から)楽しく山野を歩き、体力を養いましょう。
2. とってよいのは写真だけ、自然を大切にしましょう。
3. 来た時よりも美しく、ゴミは残さないようにしましょう。
4. リーダーの指示を守り、恥ずかしくない行動をしましょう。
5. 火災の予防には、十分気をつけましょう。

現在の会員数161名(男性78名、女性83名)このうちご夫婦で入会されている方は28組おられます。

写真左は6月の静岡県水ヶ塚公園～忠ちゃん牧場の『ヤマツツジ』、そして写真右は4月の山梨県塩山桃源郷の『しだれ桜』。季節に合わせ花を楽しむことができます。



[山野を歩き、草花を愛でませんか？](#)



[山野を歩き、草花を愛でませんか？](#)

三島市五十雀山歩会の組織は会長と副会長の下に、市内の地域別に8班を置く体制になっています。入会后、3,4年で班長を経験し、更にベテランになると企画部員になります。

企画部員は探索山行に始まり、2~3回の下見山行を行い、台風や、大雨のあとは山行日直前の安全確認山行を経て本番になります。これが長い歴史のある五十雀山歩会の安全に対する伝統です。自然を愛し尊敬して、自然に抗わないと感じました。

写真左は2月の伊豆市修善寺奥の院~桂大師~梅林の『梅』。そして、写真右は7月の群馬県吹割の滝『クサギの花』。



[山野を歩き、草花を愛でませんか？](#)



[山野を歩き、草花を愛でませんか？](#)

新入会員の寄稿を読むと、初参加の多くの方が、ベテラン企画部員のサポートを得て無事目的地に着き、疲れが吹っ飛び、その時経験した達成感が忘れられないと記されています。

五十雀山歩会は各レベルに合わせた山行企画がされています。

- ・初級; 1日の歩行時間が3時間前後までの軽い山野行。
- ・中級; 1日の歩行時間が4時間前後の山野行。
- ・上級; 1日の歩行時間が5時間前後の山野行。
- ・健脚級; 1日の歩行時間が6時間を超える山野行。

\* 歩行時間は小休止を含む

今年の企画では初級が6回、中級が4回、上級が4回、健脚級が1回有ります。ベテラン企画部員が沢山いるからこそ、これ程多くの山行企画ができるのだと感心させられました。

写真左は8月山梨県大柳川溪谷の吊り橋。写真右は7月山梨県石割山の大きな岩の割れ目をくぐる。



[山野を歩き、草花を愛でませんか？](#)



[山野を歩き、草花を愛でませんか？](#)

写真左は3月の残雪が残る中を歩く、神奈川県丹沢大山南尾根。写真右は11月山梨県本社ケ丸にて、突然発生した霧氷。1,000mを超える標高差でハードですが、富士山の展望が魅力であると言う。自然の織り成す魅力を堪能できましたとの事。

初心者から足腰に自信のある方まで、青年男女なら誰でも山行を楽しむことができるのが三島市五十雀山歩会の素晴らしさだと思いました。

貸切りバスで登山口まで行き、下山場所から同じバスに乗って帰れるので、登った場所に戻る必要がありません。帰りのバスの時間を気にする必要がないので、多くの草花や野鳥の観察ができ自然を満喫できます。

三島市五十雀山歩会は、近隣市町にもある五十雀山歩会と連携した五十雀山歩会連絡会に加入しています。

入会は常時受け付けています。

受付窓口

- ◆佐藤 様宛 TEL;055-987-3886
- ◆年会費;2,000円
- ◆参加費;2,500円から
- ◆入会資格:成年男女



[山野を歩き、草花を愛でませんか？](#)



[山野を歩き、草花を愛でませんか？](#)

写真左はパラマ台～本栖湖の『紅葉』の中を歩く。写真右は『スキ』の中を歩く12月の熱海、石仏の道。季節に合わせて、魅力的なコースが企画されています。



[山野を歩き、草花を愛でませんか？](#)



[山野を歩き、草花を愛でませんか？](#)

中、上級コースの9月燕岳(つばくろだけ・2763m)山行の様子を写真で紹介しします。燕岳の岩山を両手、両足を使って、登り、ついに登頂して全員で万歳する皆さん。登って来た疲れが一気に吹き飛んだ瞬間でしょう(写真左右)。



[山野を歩き、草花を愛でませんか？](#)



山行は山小屋でみんなと一緒に食べるのも楽しみの一つです(写真左)。また、1月の西伊豆歩道、丸山園地で昼食後にコーラスも楽しみました(写真右)。



[山野を歩き、草花を愛でませんか？](#)



[山野を歩き、草花を愛でませんか？](#)

8月日本百名山蓼科山山頂で記念撮影(写真左)や11月三浦半島の劔崎での記念写真(写真右)も仲間と一緒に行った思い出として、末長く記憶に残る事でしょう。



[山野を歩き、草花を愛でませんか？](#)



[山野を歩き、草花を愛でませんか？](#)

行く先々で色々な方と出会い、老若男女関係なく挨拶をし、狭いところを譲り合う時は、「なんて気持ち良いだろう」と語られていました(写真左)。

1月の新年宴会では会員の多種多芸ぶりが披露され、山行以外でも楽しい一時が『三島市五十雀山歩会』の魅力だとの声が聞かれます。

同じ趣味を楽しむ仲間と一緒に外に出て交流する事こそ、健康長寿の秘訣だと感じました。皆さん一度体験されませんか？

「写真は全て三島市五十雀山歩会からご提供して頂きました。」

取材；東部田方地区生きがい特派員 加藤 孝